

完成したペンギン舎の壁画



ペンギンの壁画完成

秋田美大生、高等学院生制作

秋田市浜田のあきんどモリンの森（大森山動物園）のペンギン舎の壁に1日、秋田公立美術大学の学生と大付属高等学校の生徒で共同制作した3面の壁画が完成した。ペンギンが卵から成鳥になるまでの成長過程が、色とりどりのペンギンにより温かみのあるタッチで描かれている。

動物園と美大が共同で取り組む「大森山アートプロジェクト」の一環。来園者に動物を見る以外にも楽しみを提供しようとして、2018年から取り組んでいる。当初、壁に絵を描く作業は9月21日から3日間予定だったが、大雨で実施は当日のみに。残りの作業は10月に持ち越しとなったが、作業を予定していた10月19日も雨で中止。翌20日に絵を全て描き終え、ペンギンが乾いたことが完成した。学生と生徒延べ32人が携わった。

同園企画広報担当の金

大森山動物園 成長過程、絵本のように

大森山動物園は「残念ながら壁画と本物のペンギンを見比べることはできないが、ペンギンが生まれてからの一生を絵本のように描かれているので、壁画だけでも楽しんだ。」と語った。（小野祐一）



ペンギンの水槽に張られた展示中止のお知らせ

©秋田魁新報社